

学長選考会議もハラスメントを隠蔽??

樟の葉 18-1 号および 18-2 号でお伝えした、櫻井学長および寺尾前学長のハラスメントを法人が組織的に握りつぶそうとしていることの続報です。

組合は、2019年8月20日付で学長選考会議の議長である尾崎春樹氏に対して質問書を送付しました（裏面の資料を参照）。

質問は、櫻井学長および寺尾副学長（当時）を被申立人としたハラスメント苦情申立てが行われ法人として何も対応していない状況だが、学長選考会議としてどのように対応するのか（対応する予定なのか）、という内容です。

8月30日を回答期限として設定しましたが、期限内に尾崎氏から回答はありませんでした。

学長選考会議もこのハラスメント苦情申立てに関して何の対応もしないつもりなのではないでしょうか。

期限内に何も返事がないということは、学長選考会議もハラスメントを握りつぶそうとしていると思われるでも仕方ありません。ハラスメントを握りつぶすことは、ハラスメントの申立者に対する明確な嫌がらせ（ハラスメント）にほかなりません。

組合は、今後もこの法人当局のハラスメント隠蔽行為と闘いを続けていきます。